

「統合後の新しい学校像検討会議」報告書（概要）

<求められる学校像>

コンセプト:「仲間とつながり、地域とつながり、一人一人の夢や希望をかなえる学校」
～地域に根ざし、地域に信頼され、地域に開かれた学校をめざす～

1 学校機能

○聴覚障害部門は、保育相談部及び高等部を新たに設置することが望ましい。

○聴覚部門での遠距離通学者支援のため寄宿舍の設置が望ましい。

なお、寄宿舍の規模は、舎生数の見込みを精査の上、検討する必要 等

2 教育の充実

○聴覚障害、知的障害のある児童生徒の双方が刺激を受け合うことで主体的・対話的で深い学びにつながるよう、共に学ぶ機会を設けた教育課程の工夫が必要

○ICTの活用による交流及び共同学習の充実、オンライン授業活用の研究が必要

○近隣の小・中学校、高等学校、芸術文化観光専門職大学等との交流活動や副籍を生かした居住地校交流の一層の推進が望まれる。

○地域の住民や企業、福祉事業所等との交流活動の一層の推進が望まれる。等

3 センター的機能の充実

○言語聴覚士など専門家の教育的活用や、保健・医療・福祉機関からの支援が必要

○小・中学校等に関係機関等と連携した支援体制について助言する等、地域全体の支援力を高めることが必要

○教育相談でのICT活用のあり方の研究、ICTを活用した研修・公開講座の充実を図ることが必要 等

4 教員の専門性

○校内での研修体制の構築と聴覚障害部門と知的障害部門の異なる専門性のある

教員同士の連携や情報共有等により、それぞれの専門性の次世代への継承が必要

5 施設・設備の整備

○ユニバーサルデザインへの配慮、現在の生活様式に応じた寄宿舍、ICT環境、多様な学習室や多目的スペース、屋外交流スペースなどの確保が望ましい 等

6 統合校の位置等

○両校の現行の敷地内で最大限の施設整備を実施しても、求められる学校機能の整備は難しい状況。求められる学校像の実現に向けて、適地の確保に努められたい。

等

7 統合までのスケジュール

○適地選定後、設計、工事期間のほか、それぞれの入札準備期間等を踏まえれば、4年程度の期間を要するものと想定され、統合の時期は、概ね令和9年4月が望ましい。